

令和8年度 夢風船 事業計画書

1 はじめに

令和8年10月開設予定の新規生活介護事業所に夢風船主任の異動が決定しており、年度途中に支援体制及び事業管理体制が大きく変更されることになる。後任の職員採用を進め円滑に支援の引き継ぎを行うと共に、各階グループリーダー等に主任の業務を引き継ぎ混乱なく事業が継続できるように準備を進めたい。7年度は誤薬が1件、怠薬が2件起きてしまった。いずれも大きな健康被害はなかったが、長年同じ職員体制で安定的に事業を行ってきていただけない、油断や緊張感の欠如を否定できない。利用者、職員共に定着率が高く、安定的に事業が行えている一方で形骸化や気の緩み、距離が近いが故の心情等への配慮不足などの危険性もあり、自己点検をしながら事業を行っていく必要性を感じている。事業再編が行われる8年度を良い機会と捉え、活動、支援をなどについて再点検しながら事業に取り組みたい。

2 事業概要

1) 施設名	夢風船
2) 事業種別	生活介護
3) 所在地	東京都小平市小川町2-1931-1
4) 経営主体	社会福祉法人未来
5) 利用定員	20名
6) 利用現員	28名（令和8年1月末現在）
7) 法人認可年月日	平成14年12月11日
8) 事業開始年月日	平成26年11月1日
9) 職員	管理者 1名（兼務）
	サービス管理責任者 1名（常勤）
	生活支援員 17名（常勤換算14.8）
	看護職 1名（常勤）
	嘱託医 1名

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援。
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
- 3) 安心と希望の持てる生活。

4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 利用者への相談支援
- 6) 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① 資源回収作業
- ② 弁当配達回収作業
- ③ 市内児童公園清掃受託事業
- ④ シュレッダー作業
- ⑤ P C 入力作業
- ⑥ 法人H P 更新作業
- ⑦ 折紙製品作成作業
- ⑧ その他受注作業

2) 生活支援事業

- ① 入浴（毎日）
- ② 運動プログラム（ストレッチ・口腔体操・歩行訓練・腹筋運動・下肢運動・ウォーキング等）
- ③ バイタルチェック（朝・入浴前）
- ④ 夕方生活支援事業（利用者の余暇支援事業）

3) 行事

- 4月 利用者永年勤続表彰式
- 5月 運動会
- 6月 レクリエーション
- 7月 レクリエーション
- 8月 川遊び
- 9月 レクリエーション
- 10月 レクリエーション
- 11月 旅行
- 12月 忘年会
- 1月 新年会・初詣
- 2月 レクリエーション
- 3月 レクリエーション

6 日 課

- 8：30～9：00 送迎
- 9：00～9：40 送迎・活動（バイタルチェック、運動、入浴）
- 9：40～9：50 朝礼
- 9：50～11：30 活動
 - ・作業（資源回収作業／弁当配達回収作業／清掃作業／P C 作業／室内軽作業）
 - ・運動プログラム（ウォーキング／歩行訓練等）
 - ・入浴
- 11：30～13：30 昼食・休憩
- 13：30～13：35 ストレッチ体操
- 13：35～13：40 昼礼
- 13：40～15：25 活動（午前と同じ内容）
- 15：25～15：35 片付け
- 15：35～15：40 お茶
- 15：40～15：50 終礼
- 15：50～16：00 退所準備

16:00～17:10 送迎、清掃、記録作成

17:10～17:30 職員打合せ

7 重点課題・目標

1) 活動

1 F— (1) 利用者の主体性の向上に向けた活動

朝礼等の司会の他、利用者が参加する場面を設ける。また、作業内容や方法等について、自ら考える場面を増やし、活動に向けた意欲と主体性の向上を図る。

2 F— (1) 利用者の安全確保

利用者個々の特性を理解のうえ、見守りの強化や精神的な安定に向けた環境設定やコミュニケーションにより、離接や他害行動、自傷行為などの防止を徹底する。

1・2 F 共通—

(1) 利用者の生活全般にわたる支援の充実。

本人や家族の高齢化等による生活基盤が脆弱化しつつある利用者等に対して、相談支援の充実、衛生保持、健康管理、日常の軽微な事柄への支援、専門機関への連絡調整、将来の居住環境整備に向けた準備、緊急時を想定したシミュレーションの実施など幅広く柔軟な支援を行う。

(2) 各利用者の可能性の発見と伸長にむけた活動（作業）の開拓と支援

活動や生活場面において、自分で考える機会の保障や継続により生活能力や作業能力の向上を図る。また様々な経験を通して能力や興味関心の発見とその伸長を目指すことで、一人ひとりがやりがいをもって生活できるように支援を行う。

(3) 健康管理の充実

- ① 新型コロナウイルス感染症などへの感染症対策を徹底する。
- ② 一人ひとりの健康管理や衛生保持、また身体機能の維持向上を丁寧に行うとともに、疾病、けが等への迅速な対応を行う。

2) 人材育成

(1) PDCAサイクルの実施による利用者支援スキルの向上

(利用者の心情理解、問題行動への冷静な対応)

(2) 職員間の連携協働体制の強化（内部牽制強化）

(3) サービス管理責任者、強度行動障害支援者等の資格取得促進

3) 経営管理

(1) 介護給付費の安定確保

- ① 1日平均利用者20人を目標とし、利用者の安定通所を図る（令和7年度実績1日平均利用者22.5人、28人在籍通所率80.3%—令和8年1月末現在）。

(具体的方策)

- ・送迎場所や時間など柔軟な対応を行う。
- ・健康状態の確認など家庭やグループホームとの連絡調整を密に行う。

- ② 職員配置数を維持し、職員配置体制加算、重度障害者支援加算の算定を継続する。

(2) 月次試算による状況分析

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。緊急的支出に対しては、充当資金の調達のため計画の優先順位を設定する。

(3) 節電等による経費削減

水道光熱費や消耗品など、活動に影響が出ない範囲で節約意識を共有し、経費削減に努める。

8 その他の課題・目標

1) 療養介護入居者の活動体験の受入れ

市内療養介護施設の入居者1名を月に1日活動体験で受け入れることで、入所施設利用者の生活の幅を広げる。

※新型コロナウイルス感染症の流行以降、当該療養介護施設の方針により休止中。当該療養介護施設の許可ができれば再開の予定。

9 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 生活支援員

救助担当 生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。